



O's

NEWS

## 足のしびれの原因も様々です。

副院長 脊椎・脊髄センター長 山本 慎司

加齢に伴い、歩いているとだんだん足がしびれてしまい、休憩を取らないと歩けなくなる症状(間欠性跛行)がよく出現します。その原因として、脳、脊髄から足につながる神経が腰、お尻、太もも、ふくらはぎ、足首などで物理的に圧迫が加わり続けるために生じることが非常に多いです。

「腰部脊柱管狭窄症」や「腰椎すべり症」は、骨の変形、関節のずれ、分厚くなった靭帯や椎間板の飛び出しなどのために「脊柱管」と呼ばれる背骨の中の神経の通り道が狭くなることで「歩くと足がしびれる」ようになります。また、お尻や足首などでも神経が圧迫されることで同じような症状が出現します。足のしびれや痛みのことを「坐骨神経痛」とまとめて表現されますが、実はその原因は様々で、長年腰に原因があると思われていたものが、きちんと検査をうけてみたら、実は他の部位に原因があったということもよくあります。

症状の改善のためには、まず原因をきちんと突き止め、その上で適切な治療を受けることが大切です。腰に原因があるかどうかを調べる検査としては、レントゲン、MRI、CT検査が行われ、原因が複数あることも多く、局所麻酔薬を用いたブロック治療なども行い、正確に原因を突き止めます。さらにお尻、太もも、ふくらはぎ、足首などに原因があるかどうかは、末梢神経伝導検査やさまざまなブロック

治療の効果などを踏まえて診断いたします。また、原因が神経ではなく、動脈硬化などのために足の血管が細くなり血流不足のために生じる病気(閉塞性動脈硬化症)もあります。

軽症の場合は様々な薬物治療、ブロック治療、リハビリテーションなどでの改善を目指しますが、激痛で日常生活もままならない場合には手術治療も検討いたします。高齢の患者さんが非常に多く、本院ではできるだけ体の負担をかけないように、顕微鏡や内視鏡を用い、小さな傷での精密手術を行っています。

足のしびれの原因はさまざま、症状の改善のためには原因に応じた専門的加療が必要です。お困りの方は一度専門医に相談されることをお勧めします。



腰部脊柱管狭窄症



腰椎変性すべり症



ちょうど一年前頃、こちらのページで明石城の櫓を特集させていただきました。前回は天守と同じ役割を果たしたといわれる坤櫓の話題に触れましたが、今回はもう一つの櫓『巽櫓』の歴史をたどってみましょう。

そもそも巽櫓は船上城の天守だったといわれています。諸説ありますが、船上城は1585年高山右近によって築城され、明石川河口の西側、明石海峡に面した部分に建てられた水城(みずじろ)でした。貿易船の中継地点としても利用されていましたが、1587年バテレン追放令によって高山右近は船上城を追われることとなりました。

その後、江戸幕府が一国一城令を出した為、船上城は城としての機能を廃止されたのですが、後に小笠原忠政が明石城を新たに築城した際、解体された船上城の部材が明石城に流用されたといわれています。

明石城のすぐ目の前にある明石市指定文化財の織田家長屋門も、船上城下にあった侍屋敷の門だったといわれており、かつての城下町の雰囲気をしのぼせる貴重な存在のひとつです。

阪神・淡路大震災から今年で30年を迎えましたが、当時、櫓の建物自体は傾いたものの、明治期の修理の際に加えられた筋違(すじかい)が柱や梁などを守ったことから驚くほど損傷は少なかったそうです。クリニックへお越しの際は、明石城やお堀の周りをゆっくり散策し、歴史の息吹を感じてみるのはいかがでしょうか。

【診療科】 脳神経外科・脳神経内科

診療時間		月	火	水	木	金
午前	受付時間 8:30~11:30	○	○	○	○	○
	診療時間 9:00~12:00					
午後	受付時間 14:30~17:30	○	○	○	○	○
	診療時間 15:00~18:00					

休診日：土曜日、日曜日、祝日

TEL：078-911-0024



巽櫓(たつみやぐら)



織田家長屋門

## ワクチン今昔

薬剤部長 田中 一穂

吉村昭の「雪の花」が映画化されました(主演:松坂桃李)。江戸後期、世界初のワクチン「種痘」を日本で普及させようとした医師の物語ですが、「膿」の接種など庶民に受け入れがたく様々な憶測や誹謗中傷があったようです。

ワクチンは毒性を弱めたり、感染性の無い病原体を注射することで病原体を体が覚え「抗体」という病原体に抵抗する蛋白質を作りますが、主に以下の2種類に分けられます。

- 1.生ワクチン 毒性を弱めた病原性の少ない病原体を注射 (はしか、おたふくかぜ、風疹など)
- 2.不活化ワクチン 感染能力を失わせた病原体を注射 (インフルエンザ、日本脳炎、B型肝炎など)

一般的に生ワクチンの方が効果は強く、副作用も多くなる傾向にあります。

コロナワクチンで注目されたmRNAワクチンは全く新しいタイプで、ウイルスの外側にあるスパイク蛋白の遺伝子を注射しスパイク蛋白に対して抗体を作ります。

mRNAを複製する酵素を利用したコロナレプリコンワクチンでは自己増幅型ワクチンということから無制限にmRNAが体内で増えるのではないかという不安がSNSなどで拡散されましたが2週間程で検出されなくなるようです。

新しい技術に対する不安は現代でもあると思いますが正しく理解すれば最適なものを選べる時代になっていると思います。



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo  
秋吉 美穂子



**4月(卯月)** うづき 新年度が始まり、新しい毎日がスタート。桜が舞い、お花見へ。日本人が待ちに待った季節の到来♪ちなみに花見団子の桃色、白、緑は、雪解けの間から新芽がのぞき咲き誇る桜をあらわしているそうです。



**3/30~4/3(第十二候) 雷乃発声 / かみなりこえをはつす**

遠くで数回小さくゴロゴロ、春雷です。満開の桜も風に舞い、「花吹雪」や「花筏」が見られる季節です。春の球根達 チューリップ、水仙、ムスカリ、クロッカスも次々と咲き出し春らん漫♪寒い頃に小さく芽をのぞかせ、春の訪れと共にスクスクと育つその様子に毎年笑顔があふれます。



**4/4~8(第十三候) 玄鳥至 / つばめきたる**

昔は「常世国(とこよのくに)」からやってくると言い伝えられていた、つばめ。数千キロの旅を終えまたやってくる頃。ブルーのじゅうたんの広がる「ネモフィラの丘」茨城県ひたちなか市や淡路島などで大人気の風景です。ネモフィラの花言葉は「どこでも成功」「可憐」。厳しい環境でも美しく丈夫に育つことから。



万物が清らかに、生き生きと輝く頃。思わず大きく深呼吸したくなります。

**4/9~14(第十四候) 鴻雁北 / がんきたへかえる**

つばめと入れ違いに雁が北へ帰る頃。連なって飛ぶ雁の姿は、多くの詩歌に詠まれました。高級茎茶の「雁が音(かりがね)」。昔話に、「雁は海で休むために枝をくわえて渡りをする」という言い伝えが。その枝とお茶の茎をかけたのが「かりがね」の由来とされます。心に染みませぬ。



**4/15~19(第十五候) 虹始見 / にじはじめてあらわれる**

空に大きくかかる虹。英語で「Rainbow」は「雨の弓」という意味でアメリカでは6色が一般的。中国では虹を「空にあらわれる大きな蛇」と見なし、大きな蛇=龍とされました。そのことから、虹の虫偏は「蛇」をあらわし、「貫く」という意味をもつ「工」を付け日本の文字「虹」ができあがります。まさに「天空を貫く龍」。



**4/20~24(第十六候) 葭始生 / あしはじめてしょうず**

水辺の多い日本を代表する葦の芽がツツツと水面に出てくる頃。日本の古名は「豊葦原の瑞穂の国」、古事記の創世神話に登場します。人間を「考える葦である」と言ったフランスの思想家パスカル。不思議なことに、西洋でも日本でも「葦」は人間の弱さにたとえられてきました。



**4/25~29(第十七候) 霜止出苗 / しもやんでなえいづる**

田植え間近の頃、霜がおりる心配もなくなってきました。平安貴族がその美しさから「富貴の花」と愛でられてきた牡丹が咲き始めます。薬草として、奈良時代に中国から伝来。根の皮に鎮痛、消炎作用があり解熱剤、止血剤として珍重されたのです。仏教では病人の看護も修行のひとつ。多くの寺院が牡丹を植え今もその名残が一。長谷寺は7千株の牡丹が♪



「パセリ」

「セリ科」 英名:Parsley 地中海原産

料理の付け合わせに使われる名脇役「パセリ」。彩りが美しく、独特の香りと口の中をさっぱりとしてくれる効果で、揚げ物に添えられたり、みじん切りはスープ、肉料理に、また魚や肉の臭み取りとして、セロリと茎と共にブーケガルニとして大活躍♪古代ギリシャでは競技会の勝者にパセリの冠、華やかな席では、首にパセリの花環をかけ楽しんだり古い歴史を持つハーブです。その高い栄養価にも注目!パセリに豊富に含まれるビタミンA・C・E、いわゆる「ビタミンEース(ACE)」が活性酸素の発生を予防、ビタミンK、β-カロテンも〜。一日3房3gがおすすめです。



# 外来担当医表

〈血〉血管内治療 〈顔〉顔面の痛み・けいれん 〈FUS〉集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1診 【予約制】	午前	高橋〈顔〉	大西(宏)	久我	茶谷	三好
	午後	高橋〈血〉	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	三好
2診 【予約制】	午前	前岡	岡本	角田	富士井	酒井
	午後	前岡	岡本	角田	祖父江	脊椎・脊髄外来 山本
3診 5診	午前	担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	3診 佐藤	担当医
6診 【予約制】	午前	—	—	—	吉村	担当医〈血〉
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	平林	麻酔科 鈴木
7診 【予約制】	午前	脳神経内科 石田	—	脳神経内科 赤谷	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田
	午後	脳神経内科 石田	—	—	てんかん 第4週 田村	脳神経内科 第1・3週 阿部 第2・4・5週 小坂田(FUS)

※診察受付時間：月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～ 6診 麻酔科 鈴木 (2025.4.)  
※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 7診 脳神経内科 阿部

## 連携協力医療機関のご紹介

No.265

### 正井医院

院長：正井 博之

【認定資格・所属学会】日本内科学会、日本循環器学会

【診療科目】内科、小児科、循環器内科

【住 所】明石市魚住町中尾294-1

【電 話】078-946-3536



No.266

### 繁田医院

院長：繁田 龍太郎

【認定資格・所属学会】整形外科専門医、産業医

【診療科目】内科、整形外科

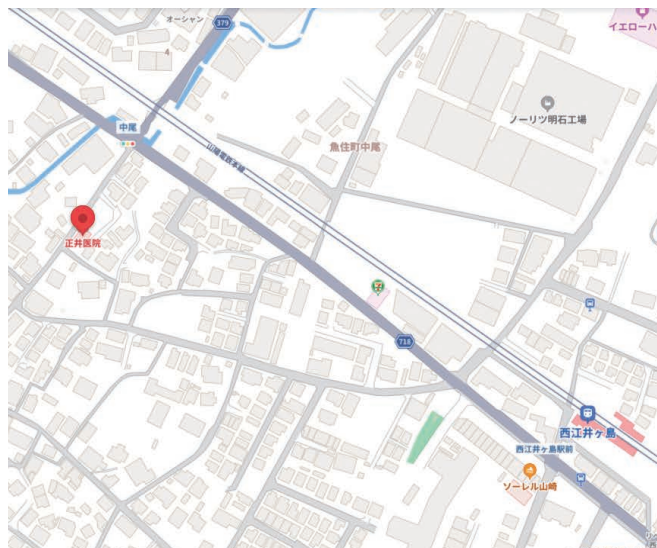
【住 所】明石市二見町東二見1328-1

【電 話】078-942-1004



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
17:00～19:30	○	○	○	/	○	/	/	/

休診日：木曜・土曜午後、日曜、祝日

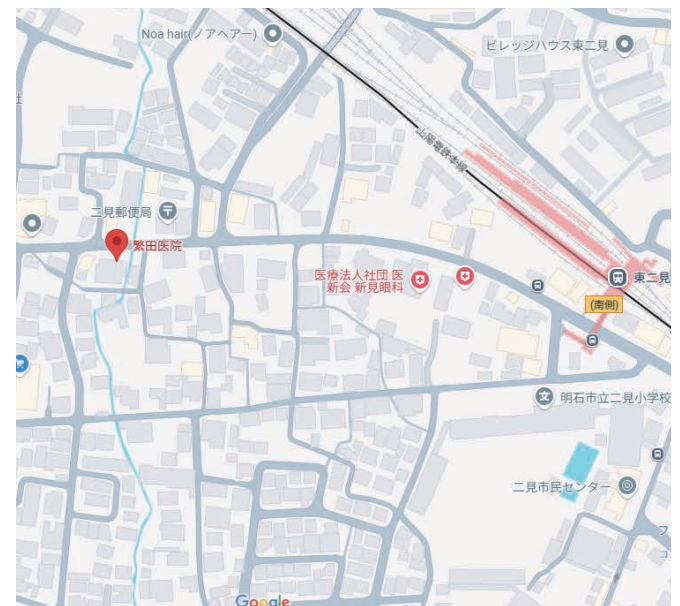


#### 正井院長からのメッセージ

当院は循環器内科を中心に一般内科、小児科と幅広く診療しています。高度医療が必要な方には大西脳神経外科病院など近隣の医療施設と連携し、治療します。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	○	/
16:00～19:00	○	○	○	/	○	/	/	/

休診日：木曜・祝日、土曜・日曜午後



#### 繁田院長からのメッセージ

土、日、祝日の時間外の対応までして頂き、大変感謝しております。



公式LINE

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238 / FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <https://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288 / FAX:078-938-0399

発行・編集責任者：理事長・院長 大西 宏之



ホームページ